

鹿児島県伝統工芸品大島紬活性化・推進の試み（第Ⅲ報）

－温泉旅館における快適な羽織の創作－

西之園 君子*

Encouraging and Promoting Kagoshima Traditional Craftwork, Oshima Tsumugi (Report III)

－ Comfortable Wear at a Hot Spring Resort Hotel －

Kimiko Nishinosono

大島紬は¹⁾²⁾古代染色技法と緋加工技術法を用い、高度の技で精緻な文様を1本1本調整して織られた鹿児島が誇る伝統工芸品である。黒い色合いが醸し出す柔らかい光沢や張り感はおしゃれ着として風格があり、しかも軽くて肌触りの良い特性を兼ね備えている。

この³⁾高級反物は昭和2年に生産反物数が356,094反とピークをむかえたが、その後は減少傾向が続き、平成19年には18,162反に激減し衰退の一途をたどっている。

これは戦後の生活スタイルの洋装化に伴い、日本伝統の着物を着る機会が少なくなり、この為需要が減り続けていることから、伝統の技を継承する後継者不足も危ぶまれ、危機的な状況を呈している。

鹿児島の自然と先人たちの絶え間ざる研鑽によって作り上げられた伝統工芸品大島紬を活性化するために、温泉旅館で浴衣の上に着用する羽織を創作し、快適性と着心地について試着実験を試み、大島紬を普及活性化する課題について知見を得ることができた。

Key words: [大島紬] [伝統工芸品] [温泉旅館] [羽織] [緋]

(Received September 24, 2010)

1. 緒言

鹿児島の複合火山帯で知られる霧島、指宿は温泉が湧き出し、九州有数の観光地である。2011年3月九州新幹線鹿児島ルートの中線開業に合わせ、観光客を誘致する取り組みが行われ、さらに観光客を受け入れるホスピタリティ養成にも力を入れている。県内外から観光客が利用する温泉旅館やホテルの施設設備の充実はもちろんのこと、快適に休養するための衣服である浴衣や羽織で、もてなす配慮も大切な要素である。今回は入浴後、浴衣の上に着用する羽織の快適さを追求するために鹿児島の伝統工芸品大島紬で製作した羽織の試着調査に基づいて、大島紬の開発普及に役立てることを目的とした。

*鹿児島純心女子短期大学生活学科生活学専攻生活クリエイティブコース（〒890-8525 鹿児島市唐湊4丁目22番1号）

2. 研究方法

(1) 温泉旅館

鹿児島県霧島温泉旅館における羽織の実態調査

調査期間 平成20年10月～21年8月

(2) 半纏と羽織の試作及び本製作

1) 試作品は2タイプ

イ) 袖なし，脇の襷なしの半纏 ロ) 袖付き，襷付き羽織

これらをシーティング（未晒しの木綿）及び大島紬で試作し，着心地，着やすさ，シルエットについて比較検討した。

2) 大島紬について

大島紬は文様が鮮明な経緯緋，少しかすれた文様の緯緋，縞柄の文様の3反を使用する。大島紬は高級反物であるため，試着用としては手頃な価格のものを選び，出来上がった反物⁴⁾は加工糊を除去する湯どおしをすることにより，柔らかな風合いとソフトな光沢をより引き出すことができた。

男性用着尺縞柄 1反，女性用総柄着尺 2反，羽裏は絹100%の素材

(3) 羽織の試着実験とアンケート調査

温泉旅館 鹿児島県霧島市隼人町妙見 石原荘

羽織試着に対するアンケート調査期間 平成22年2月～5月

(4) アンケート調査内容

1. 大島紬に関する認識や知名度について
2. 羽織の快適性と着心地について
3. 大島紬の色合い、緋文様についての感想
4. 望ましい大島紬の商品開発について
5. 大島紬の反物に関する感想

表1 対象者（宿泊者） 調査人数 52人

	県内	県外	計
男性	1	7	8
女性	9	35	44
計	10	42	52

表2 年代別・性別利用者数

52人

年代	20～30歳代	40～50歳代	60歳以上	合計
男性	2	7	1	10
女性	10	11	21	42
計	12	18	22	52

3. 結果及び考察

(1) 試作⁵⁾半纏と羽織

袖なし、脇の襷なしの半纏はゆとり分が不足し、着心地や着装にも課題があることが分かった。一方の袖付き、襷付きの羽織は体型に沿いゆったりしてシルエットも良好であった。これらの結果を参考に袖付き、脇の襷付き羽織を製作することに決定した。

(2) 羽織の本製作

大島紬の反物として男性は年齢を問わない縞柄、女性用は文様入りの緻密な経緯緋と緯糸のみで柄を織った緯緋を用いる。経緯緋は文様が鮮明であるのに対し、緯緋は文様がややかすれたように見える。

羽織の仕立て寸法は成人男子及び女子も標準サイズを用いて製作した。

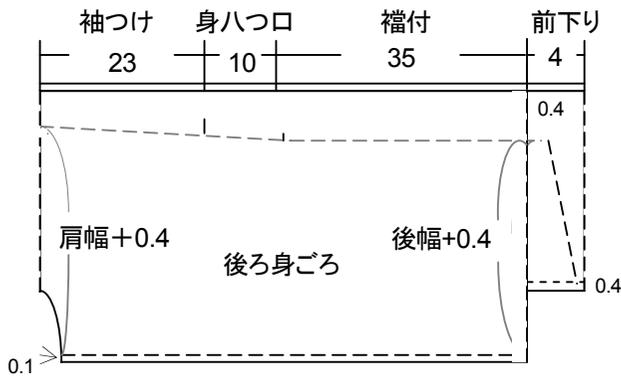
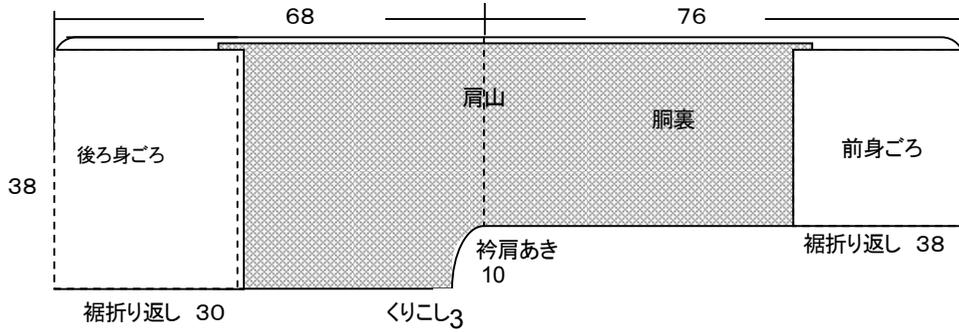
1) 寸法^{6),7)}について

表3 成人男子及び女子の仕立て寸法

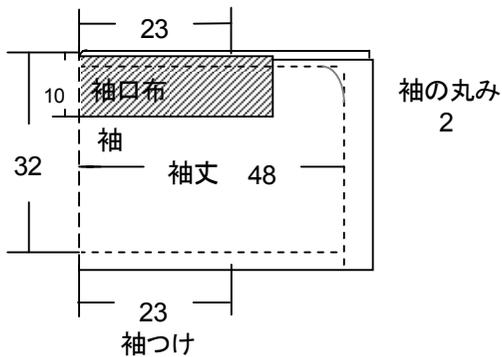
	成人男子標準寸法 (cm)	成人女性標準寸法 (cm)
羽織丈	身長/2+5,88	身長/2+2,68
袖丈	50	48
袖口	28	23
袖付け	袖丈に同じ	23
袖幅	34.5	33
袖丸み	2	2
袖口ふき	毛抜き合わせ	毛抜き合わせ
えり肩あき	9 (+0.5)	9 (+0.5)
繰り越し	断ち切り 1	2.5
身八つ口	—	10
ゆき	66	63
肩幅	32	31
後幅	30	30
前幅	袖口は後ろから写した標-1	袖口は後ろから写した-2
前下がり	3.5	3
紐付下り	35	33
襷上	突き合せ	2
襷下	7	6.5
えり幅	7	6
紐幅・丈	1.6・30	1.6・30

2) 裁断及び標付け

裁断, 標付け, 縫製⁶⁾⁷⁾は新しい寸法による図解式テキストを参考にする。
成人女子身ごろの標付け (単位cm)



袖の標付け



(3) 完成した羽織



着尺地 1反
グラデーション縞文様



写真1 男性用 縞柄



着尺地 1反
植物染め 経緯緋
(ウコン)

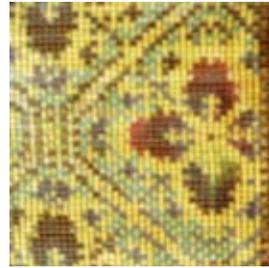


写真2 女性用

総文様



泥藍染 緯緋



写真3 女性用

総文様



写真4 試着実験用羽織



写真5 羽織の試着

(4) アンケート調査結果

1) 温泉旅館利用者

アンケート調査結果では、大島紬について52人中50人(96.2%)が知っているという結果から、大島紬は全国的に知名度の高いことが分かる。

温泉旅館に宿泊する年代別割合は高齢になるほど利用率が高いことが図1の結果から分かる。中でも男性の利用者は10人に対し女性は42人、このことから女性によく利用されているといえる。特にわが国の2009年簡易生命表⁸⁾によると女性の平均寿命が86.05歳、男性が79.29歳で女性が男性よりも6.76歳長生きである。そのため、女性は老後を楽しむ時間的余裕に恵まれていると推察できる。

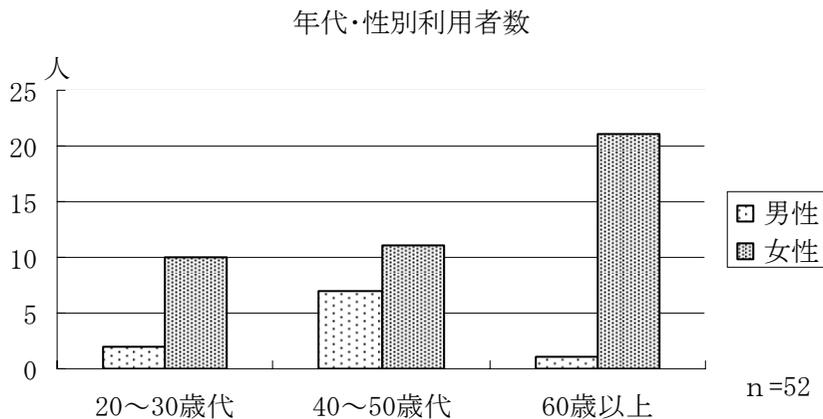


図1 温泉旅館利用者

2) 大島紬の所持品について

終戦後、生活の貧しい時代には一般庶民にとって、大島紬は手の届かない贅沢品であった。しかし、図2に示すように大島紬の着物は68%の人が持っているという結果から、認知されていたことがうかがい知れる。このことから大島紬は女性にとって憧れの高級な織物として、一般的に知名度が高かったことが理解できる。一方、年代の変化とともに着物だけではなく、生活スタイルの洋風化⁹⁾に伴い、洋服として仕立てた大島紬を持っている人も14%見られる。この結果から、大島紬の活用が多様化しつつあるのではないかと考えられる。

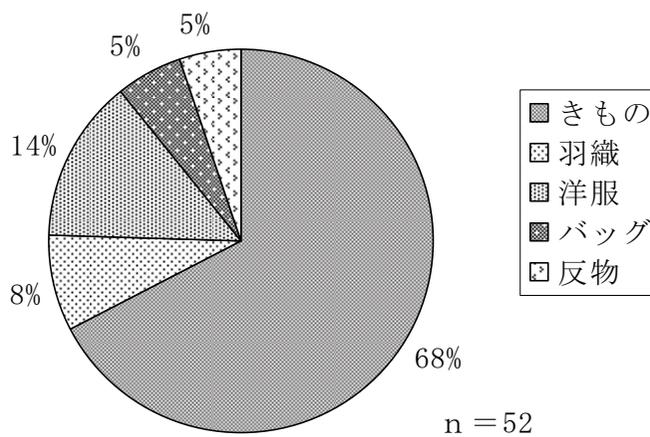


図2 大島紬の所持品（複数回答）

3) 温泉旅館で羽織を着用した感想

大島紬は軽くて着心地が良いという数値が51%で最も多い。次いで高級感、光沢がある11%である。このことから、大島紬はしなやかな風合いや緋の織り成す精緻な絹織物として人をひき付ける魅力を持っているのではないかと推察できる。

その他の12%は、気温が高くても着ていて涼しい、1度着たら手放せない、リッチな気分を味わえる、通気性が良い、おしゃれである、シワになりにくい、その反面、高級品としてのイメージがあるため、気を使いリラックスできないという意見が寄せられた。

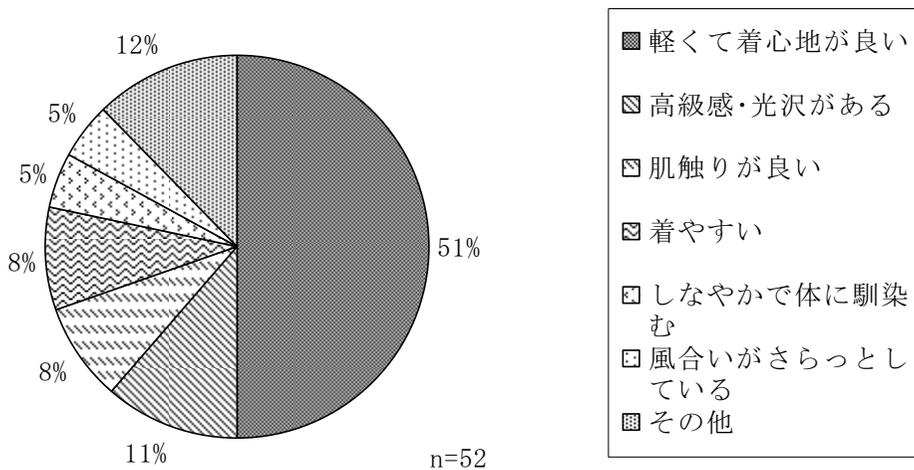


図3 羽織を着装した感想（複数回答）

4) 羽織の改良について

着物の美しさは、色合いや織り、文様で表現し、裁断や形態が一定であるため、本来ポケットをつけることはない。しかし、アンケート調査の結果では、温泉旅館で羽織る着物として、部屋の鍵や小物を入れる機能性をかんがみ、図4に示すように内ポケットがほしいという要望が31%寄せられた。

次に、衿を羽織仕立てにしてほしいという意見が14%寄せられたが、本来羽織は後ろ衿を折り曲げて着装するのが正式であるためと推察する。今回は普通の襟にして気軽に羽織れるようにし、紐は共布で結ぶように工夫した。次に袖丈が長い10%、これは食事の祭、食器に触れたり、汚したり、また洗顔の際、濡らすなどの煩わしさがあると考えられる。また、40～50歳代の男性からS、M、Lのサイズ別があればという意見が寄せられているが、着物は一般的にどんな体型にも合うようにフリーサイズが基本となっている。しかし、今日では身長、体重など体格に様々な個人差が生じてきていることを考慮する必要があるといえる。また、20～30歳代の女性はもっと明るくモダンな花柄の羽織を着たいという意見があり、若い女性の中には大島紬の色合いや柄を敬遠し、好まない傾向があるのではと思われる。

その他の26%として、大島紬は手が込んでるので普段着には勿体ない、自分の生活スタイルに合う衣服にリフォームしたいという意見も寄せられた。

また、大島紬の伝統、染めや織りの特徴についての説明や解説もほしいという要望もあった。

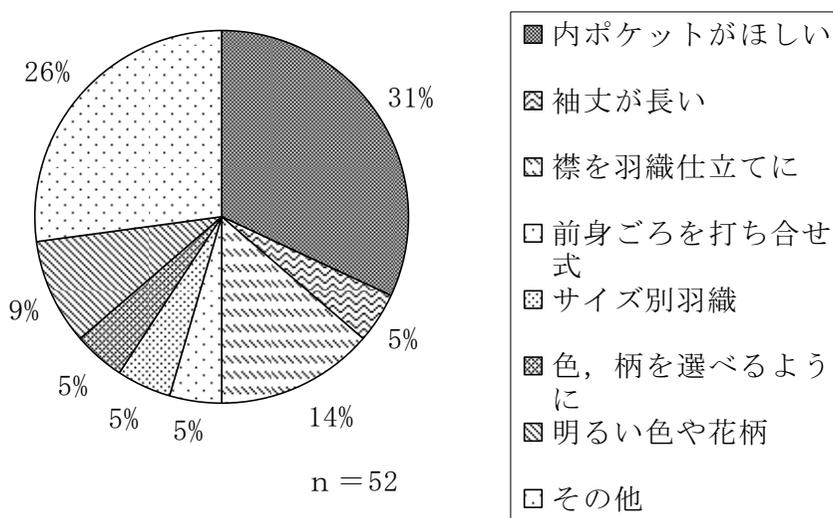


図4 羽織の改良について（複数回答）

5) 色合いについて

大島紬の特徴は古代染色法を用いた泥染めである。これは^{10),11),12)}車輪梅の煮出し液のタンニン酸と泥土の中の鉄塩類が水に不溶性の化合物を絹の上に造ることにより独特の渋い黒地に染まるためである。1回だけのもみ込み染色では染着が弱いので、新しいシャリンバイ液と取り替えて数十回これを繰り返して染織する。この染織技法こそが大島紬独特のものといえる。

アンケート調査では45%の人が色合いについて独特で落ちついていると答えている。

特に年配者に好感を持たれているのに対し、若い人は明るく多彩な色調を好む傾向があり、13%にとどまっている。中には光沢があり、繊細な色合いにひかれるという感想や黒色は一般的には重たく感じるが大島紬はさほど重苦しさを感ぜないという意見もあった。大島紬は高級な織物のおしゃれ着として、格付け認識されていることから、晴れの装いとして様々な祝賀的行事でも着装できるような色合いも望まれる。

今後は各年代の方から寄せられた色合いについての意見を参考にしながら新しい発想による研究開発が重要と考えられる。

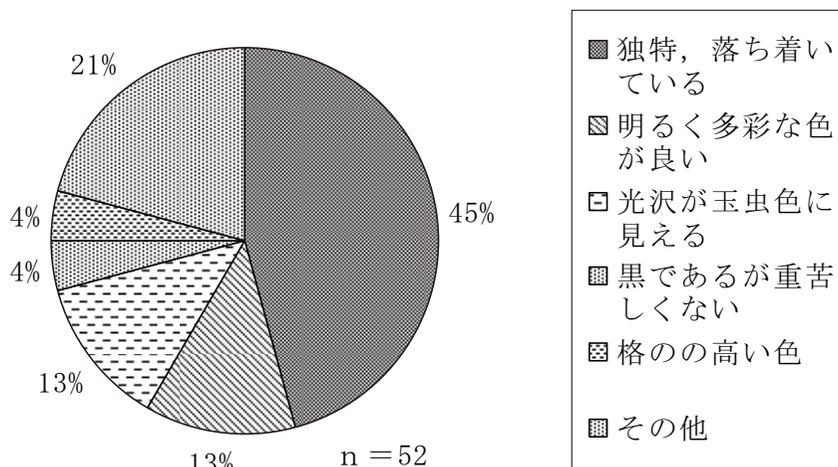


図5 羽織の色合いについて (複数回答)

6) 文様について

大島紬の特徴¹³⁾の1つは何より精緻な緋の文様である。この文様は経と緯の細かい緋を織り目正しく合わせながら、手でひとつひとつ丹念に織り込んでいき、7cmほど織ったら経糸をゆるめて絵柄が合っているか糸1本1本を針で調整するため、手間のかかる作業である。図6に示すように43%が古典的伝統的な文様が好ましいと答えており、年配者にその傾向が見られる。しかし、年配者の中にもモダン、現代的な文様にしてもよいのではという意見もあった。

このことから文様は年齢や個人の好みにより多少の差異があることが分かる。

その他29%の中には、もっと多彩な文様があればよい、龍郷の蛇柄は着こなせない、男性に相応しい文様、シンプルな文様もあればという意見も寄せられた。

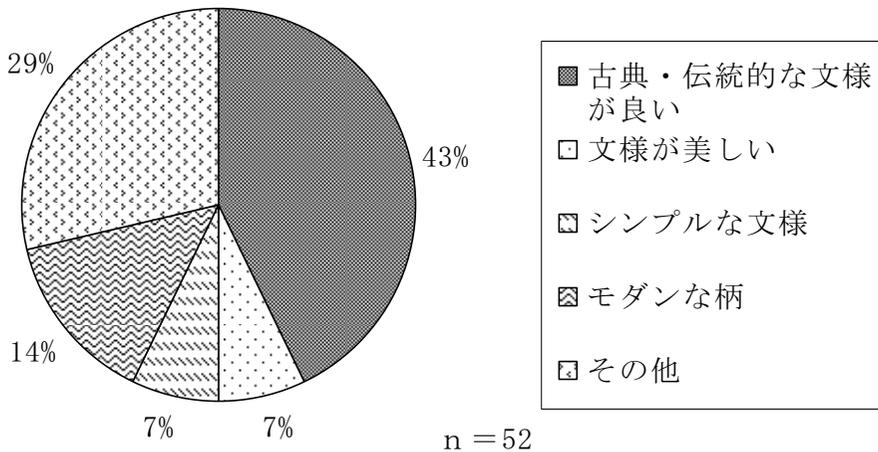


図6 文様について（複数回答）

7) 大島紬を活用した衣服や小物についての要望

- ① 高級な衣服として キルティングのコート, リバーシブルコート、ガウン, キルティングベスト
- ② 年代層に関わらず, 購入しやすい価格で気軽に着用できる衣服として, カジュアルなシャツ, ワンピースドレス, ブラウス, 作務衣
- ③ 実用的な小物として 靴, 草履の鼻緒, バッグ, ポーチ, テーブルセンター, エプロン, クッションカバー
- ④ おしゃれなストール, 名古屋帯

8) 大島紬についての意見

- ① 大多数の意見として手頃な価格で購入できたらよい。
- ② 古典調の色相, 文様が美しい。
- ③ 若い人が好む明るく多彩な色合いやモダンな文様の工夫が必要。
- ④ 独特な色相や文様は大島紬の証であるので, そのまま伝統として守り続けてほしい。
- ⑤ 大島紬を素材としたコートやガウンを着たい。
- ⑥ 色相や文様が地味に見えるが, 着物の良さが分かる人には, 大島紬の良さも充分認識されている。
- ⑦ 今後は着物に固執せず, 様々な活用方法について考察を加えた方がよい。

以上の結果より希望する商品としては, 洋服やおしゃれな小物が多く, 気軽に着れるコート, ワンピース, シャツ, ショール, エプロン, バッグ, ポーチ, テーブルセンター, 草履の鼻緒など, 身近かで実用的な小物製品などが多かった。

4. 要 約

伝統工芸品大島紬の普及と活性化を図るために温泉旅館で着用する羽織を製作し, その成果をうかがい知るために試着実験を試みた。

その調査結果から考察すると, 羽織は気軽に着脱しやすいため, 良い感触や印象を得られたが, 伝統的大島紬の色合いや文様については次のような課題や要望が寄せられた。

1. 温泉を利用する旅行者は男性よりも女性が多い。これは女性が男性よりも長寿であるため, 生きがいの1つとして老後を旅行などで楽しんでいるのではと推察する。
2. 温泉旅館は高齢者の方も宿泊することを念頭におき, 素材は軽く, 快適で着心地の良い着物や羽織などを備えることが望ましい。また, 試着実験の結果から機能的な内ポケットについては考慮する必要がある。
3. 大島紬の良さは認識されているが, 価格が高いために, 安易に購入しにくいという意見が多かったので, 適正な価格が望まれる。
4. 大島紬の色合いについては若い世代では明るく華やかな色調の多彩な柄が好まれ, 高齢者では伝統的な古典調の落ち着いた色相が好まれる傾向にある。しかし, 色合いには年齢や好みによる個人差も見られる。このことは今後の研究課題である。

5. 大島紬の文様については古典的繊細な緋文様を好む傾向のある年配者，一方，モダンで多彩な柄を好みがちな若者との間に差異があるが，同時に年齢を問わず好みには個人差もうかがえる。
6. 大島紬は価格が高いわりに渋くて地味な感があり，若い世代の好みにそぐわない一面もあるので，明るく華やかな色合いや多彩な文様の製品開発をさらに推し進めることが肝要である。
以上のことから，今後は上記の要約を視野に入れながら，様々な年代層の意見を参考にして，着物に固執せず現代の生活スタイルに調和したおしゃれな衣服や実用性のある小物製品など新しい試みを展開し，大島紬の一層の開発普及に努めることが重要と考える。

謝辞

本研究にご理解，御協力いただきました石原荘の石原玉貴様をはじめスタッフの皆様方，さらに試着実験及びアンケート調査にお答え下さいました方々に厚く感謝申し上げます。

引用・参考文献

- 1) 染川弘光：日本の手わざ2 大島紬，源流社，110，2005
- 2) 仁科勝海：本場大島紬の泥染染織，繊維製品消費学会誌 Vol.41, No.9, 746, 2000
- 3) 本場奄美大島紬生産反数資料：本場奄美大島紬協同組合，2008
- 4) 西之園君子・中村民恵：過去稿の伝統工芸品「大島紬」に関する研究 -精巧な緋文様- 鹿児島純心女子短期大学研究紀要 第34号，59，2004
- 5) 大塚末子：新ふだん着，文化出版局，33-35，1988
- 6) 岩松マス：新しい寸法による図解式和服裁縫後編，雄鶏社，228-272，1970
- 7) 稲田しげ，稲垣和子，曾谷愛子，高田あや子：改訂現代の和裁，117-134，建帛社，1995
- 8) 米永浩：日本国勢図会，矢野恒太記念会編集，485，2010
- 9) 甲斐今日子，大島澄江：大島紬の洋装化の試み，佐賀大学教育学部研究論文集 Vol.44, No.2, 57-64, 1996
- 10) 富山弘基，大野力：日本の伝統織物，257-260,1983
- 11) 鈴田照次：染織の方法，213-218，芸艸堂，1981
- 12) 西 決造：本場大島紬並びに泥染，繊維製品消費学会誌，Vol.38, No.7, 37, 1997
- 13) 西之園君子：鹿児島の伝統工芸品「大島紬」に関する研究（第Ⅱ報）
- 礼装用女物はかまの製作 -，地域・人間・科学第10・11号，地域人間科学研究所，61，2007

